

第3回宮崎県ミニバスケットボール秋季リーグ戦 実施要項

1 大会名

第3回宮崎県ミニバスケットボール秋季リーグ戦

2 主催

一般社団法人宮崎県バスケットボール協会

3 主管

一般社団法人宮崎県バスケットボール協会 U12 部会

4 後援

株式会社大阪フォトサービス

5 協賛

株式会社モルテン

6 目的

- (1) 小学生のバスケットボールの技術の向上と選手相互の親睦を図る。
- (2) 平成30年度宮崎県ミニバスチャンピオンシップ大会の出場チームを決定する。

7 期日

平成30年11月3日(土)

8 会場

清武小学校、綾町立体育館、加納小学校、大久保小学校、田野小学校

9 大会役員

大会会長	北郷 純一郎
大会副会長	上元 康正 佐多 裕之 山川 裕彦
大会役員	米田 史彦 西田 次良 金本 博 谷山 祥一 栗栖 健治 佐藤 真司 石川 祐二 堀内 泉
大会委員長	河野 光治
大会副委員長	兒玉 哲美 岩元 真史

10 競技役員

総務委員長	上米良 剛
財務委員長	福田 紀代美
接待委員長	北林 順子
式典委員長	外村 哲史
審判委員長	笠 真人
審判委員	兒玉 晃太
TO委員長	川崎 健
TO委員	外山 和彦
競技委員長	浅利 敏彦
会場委員長	安藤 正弘
総務・競技委員	本薗 忠士 堀内 幸 岡田 美菜子 井上 華澄 久保 真幸 上園 真輝 谷口 友美 久木山 和愛 堀内 豊 酒井 朋弘 内山 大 岩切 勇二 安藤 美徳 小泉 智貴 甲斐 修二 山川 和彦 富永 紘光

1 1 チーム編成

- (1) コーチ1人、アシスタントコーチ2人、マネージャー1人、保護者代表2人、選手15人以内とする。(但し、大会1週間前までに TeamJBA への登録申請済み選手とする。)(保護者代表はベンチには座れない。)
- (2) 男女混成及び10名未満のチームは出場できない。

1 2 競技方法

- (1) 県交歓大会での順位により出場チームと組み合わせを決定する。
- (2) パート内の順位決定方法は以下の通りとする。
①勝率 ②直接対決の結果 ③直接対決の得失点差 ④直接対決の得点数 ⑤総得失点差

1 3 競技規則

日本バスケットボール協会、ミニバスケットボール競技規則に準ずる。ただし、今大会には次のルールを用いる。

- (1) 5-2-5-(3)-5-2-5分とする。第4クォーター終了時に同点の場合は、2分後に3分間の延長を行う。それでも同点の場合は、勝敗が決定するまで、2分後に3分間の延長を繰り返す。
- (2) 男女混成チームの参加は認めない。
- (3) 当日の選手が10名に満たなかった場合、試合参加は認めるが、勝ち上がることはできない。
- (4) ゾーンDFは禁止とする。また、全試合、それを判定するためのコミッショナーをおく。コミッショナーは大会役員及び審判、各チーム指導者が行う。規則はJBAから出ている「マンツーマンディフェンスの基準規則」に則る。
- (5) 試合中に立って指示をするものは、試合前にTOにコーチライセンスのIDを見せて、腕章を受け取る。腕章をつけている者だけが、試合中に立って指示をすることができる。腕章がない指導者は、立って指示することはできない。腕章を試合中に別の者に付け替えた場合は、ベンチテクニカルとする。
- (6) ベンチに入れるのは、指導者も含めて、メンバー表に書かれている人のみ。当日ベンチ入りする指導者や選手に変更があった場合は、TOと相手チームにメンバー表を提出して了承を得ること。

1 4 審判、TO

- (1) TOの際にはルールを熟知した指導者もしくは保護者が子どもたちの後方に必ず立って下さい。
- (2) 審判の配置は、県ミニ連審判部がその原案を作成し、県協会審判委員長の承認のもとに行う。
- (3) 1チームにつき1名、必ず帯同審判を出す。そのライセンスはD級以上、または、審判委員長がその技術を認めたE級とする。チームに該当者がいない場合は、そのチームの責任で前述のライセンス以上の帯同審判を依頼し確保する。なお、それらの帯同審判は、チームの勝ち負けに関わらず、大会全日程で審判ができる者に限る。
- (4) 今大会は、コミッショナーは、違反を審判に知らせるために、ホイッスルを使用することとする。(コミッショナーはホイッスルを準備して下さい。)

1 5 使用球

5号人工皮ボールを使用する。

1 6 経 費

参加料は6,000円とする。チームの試合参加に要する経費はチーム負担とする。

1 7 参加申込

「参加申込」及び「参加料納付」については、TeamJBAのシステムより行う。

※ 指導者IDを登録していないチームは申し込みができませんので、必ずご確認ください。

18 代表者会議

代表者会議は行わない。この大会要項を熟読しておくこと。
組み合わせは、サカイカップの結果を受けて、9月2日の理事会にて決定した。

19 頭部外傷対応

試合中に転倒等により頭部を強打した選手は、脳しんとうの恐れがある限り、当日のプレイはできないこととします。選手の安全のため、JBAより出ている「頭部外傷に関する注意喚起・対処について」をよく読んでおいてください。当部会のHPにもリンクがあります。

20 会場使用について

会場使用については下記のことを十分に注意することとする。

- (1) 体育館シューズ（バスケットシューズ）と外ばきのシューズは区別すること。くつの管理は、各チームで行うこと。
- (2) 体育館のはしごに登る等、危ない行為は絶対にさせないこと。
- (3) 各会場、指定された場所のみで応援すること。なお、鳴り物は禁止とする。
- (4) 学校は敷地内禁煙であるので厳守すること。チームで出したゴミ（弁当殻、飲み物など）はチームで必ず持ち帰ること。弁当殻を業者がとりに来るからといって、置いておくのも放置とみなします。
- (5) 煙草の吸殻は各自保管すること。（缶などの中に入れてそのまま放置しないこと。）
※ 弁当殻やごみ、たばこの吸い殻の放置があった場合には、故意ではなくとも没収試合となる場合があります。
- (6) 駐車場は各チーム指導者を含め5台までとする。バス及びマイクロバスについては各チームで待機場所を確保して下さい。
- (7) 各会場の駐車場については、役員の指示に従うこと。
- (8) 試合中の水分補給は、必ずシート上の椅子に着席した状態で行う。また、水の入ったバケツのフローア（ベンチを含む）への持ち込みは不可。
- (9) 駐車可能時刻を8時10分から。フローアでの練習は会場準備ができ次第とする。

21 その他

- (1) 暴力・暴言は厳禁。万が一あった場合は、指導者は即退場。その後、懲罰委員会の対象となる。
- (2) 大会パンフレットは作成しない。その代わりに、パンフレットのデータを出場申し込みのアドレスに返送するので、各チームで必要な部分を印刷して使用すること。
※掲載に当たり、各チームで、掲載することの了解を得ておくこと。
- (3) 参加チームはスポーツ障害保険に加入していること。選手のけがについては各チームで処理すること。万一、事故等が起こっても、主催者側は責任を負わない。
- (4) 本大会各パートの上位2チームは宮崎県ミニバスチャンピオンシップ大会の出場権を得る。
- (5) 組み合わせ表の番号の若いチームが、淡色のユニホームを着用し、ベンチはT Oに向かって右側とする。
- (6) 帯同審判は、必ず印鑑（シャチハタ不可）を持ってくること。
 - 審判は、その日のうちに審判謝金を受け取ること。（翌日以降は支払わない。）その際、旅費日当精算書に、氏名（自署）と住所を記載し、謝金と引き換えに受領印を押印すること。
- (7) 指導者またはチーム代表者は、来場したら各会場の本部で受付を行い、IDを受け取ること。
 - 受付の際に、帯同審判、コミッショナーの氏名を申告すること。
- (8) 当日の代表者会議を8：30から行う。

22 試合開始予定時刻

1 試合目	2 試合目	3 試合目	4 試合目	5 試合目	6 試合目	7 試合目	8 試合目
9:00	9:50	10:40	11:30	12:20	13:10	14:00	14:50

※ 試合が延びた場合、10分後に次の試合を開始する。そのため、予定時刻が変わることがあるので、延びた試合以降の各チームは注意すること。